

図書館通信

11月

教室掲示

土浦湖北高校図書館

秋も深まり、朝夕は肌寒いほどです。

本校の前庭のもみじの葉が夕日に照らされて、美しく輝いています。

美しい秋を感じながら、読書を楽しみたいものです。



図書館利用案内

- 開館時間 8:30~16:45 [長期休業中は 8:30~16:00]
- 本を借りる時は? カウンターの係に本を渡して下さい。バーコードで簡単に手続きできます。
- 貸出冊数 一回 5冊まで
- 貸出期間 2週間

本のリクエスト随時受付中
※コミック類はリクエスト停止中です。

図書委員のおすすめ本

今月は2年生の図書委員4名より推し本をご紹介します!

いぬじゅん『ヒロインになるまでは』(扶桑社)

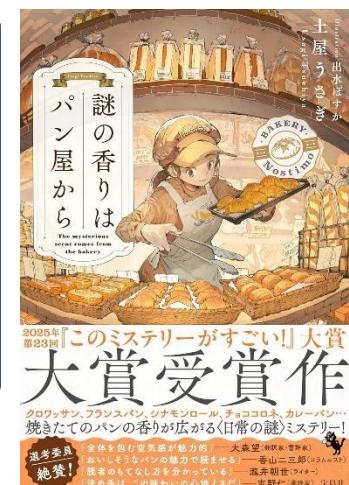
誰もが一度は「人気者のあの子になりたい」と思ったことがあるだろう。この物語の主人公で愛優は、憧れのクラスメイト青井瑠奈になりたいと願い、翌日二人の立場が入れ替わってしまう。最初は楽しかった愛優も次第に「自分らしさ」を見失っていく。この物語は人と比べず、自分を大切にすることを教えてくれる青春小説だ。



土屋うさぎ『謎の香りはパン屋から六人の嘘つきな大学生』(宝島社)

あらすじとしては、主人公の小春がアルバイトをしているパン屋を中心に、様々な「日常の謎」をテーマに進んでいく物語です。一章ごとに謎が解決していくので、長文の物語が好きな方も、そうでない人でも気軽に楽しんで読める内容となっています。

興味があればぜひ本を開いてみてください。



図書委員が研修会に参加してきました!

11月5日(水)土浦市立図書館で「茨城県南地区生徒図書委員研修会」が開催されました。本校からは、図書委員4名が「ビブリオバトラズ」という分科会に参加しました。

「ゆるく本を紹介した後、ゆるく質疑応答して、自由な賞をそれぞれに与える」というコンセプトで行われ、本校の図書委員も他校生と一緒に楽しく語り合っていました。

～本校生が紹介した本と参加した生徒の皆さんとの感想～

『狂気の山脈にて』

アメリカ、ミスカトニック大学のダイアーラ教授は研究のために南極大陸へ探索に向かう。現地にて未知の化石を発見し同行していたレイク教授が「探せばもっと見つかるかもしれない」と別部隊を急遽作り探しに行く。

無線通信にてヒマラヤ山脈よりも大きい山脈を見つけさらにそこから複数の化石が見つかったとの報告が上がるがその後通信が途絶えてしまい最悪の状況を考えたダイアーラ教授と助手のダンフォース達はいなくなってしまったレイク教授達を探しに行く。

他のホラー小説とはまた一味違う怖さがあって面白かったです。

『インカ帝国-歴史と構造』

インカ帝国は他の文明とは違い、文字も持たなかったとされているが、文字を持たない中でどのように高度な文明を築くことができたのか。また、スペインに征服される前のインカ帝国の王はどのような人たちなのか詳しく書かれています。

今回の研修に参加して、他校との交流の中で自分が読まない系統の本を紹介してもらいました。全員本の魅力を沢山喋っていて本当に本が好きなんだなと思いました



『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』
今の平和や日常のありがたさを深く考えさせられる感動的作品です。

研修会を通して沢山の本と出会えてより読書への興味が深まったとても良い機会になりました。



住野よる『君の臍臓をたべたい』(双葉社)

臍臓の病気を抱える少女・桜良と彼女の秘密を偶然知った「僕」。正反対の二人が過ごす限られた時間は、やがてかけがえのない日々へと変わっていきます。生と死、そして他者と心を通わせることの意味を静かに問いかける青春小説であり、涙と温もりが交差する感動作品です。

辻村 深月『かがみの孤城』(ポプラ社)

この本は、学校に行けなくなった少女・こころがある日自分の部屋の鏡を通して不思議な城へと招かれます。そこには同じように学校に通えない7人の中学生が集まっています。みんなで過ごすうちに、秘密や絆、そしてそれの痛みが少しずつ明らかになっていきます。やがて城に隠された「願いが叶う鍵」の真実と、彼らをつなぐ優しい奇跡が明らかになっていくお話です。

登場人物が悩みを抱えながらも支え合い、心を通わせていく過程が温かく好きです。特に、学校に通えず孤独だったこころが仲間と出会い、自分を受け入れていく姿に強く胸を打たれました。ファンタジーでありながらも人間の強さや弱さや痛み、希望を描いていたところが心に残りました。

